

竹中 浩  
法学研究科・教授

**【研究】**

ロシア近代史の研究に関しては、平成30年度刊行予定の、1890年代後半のロシア政治思想に焦点を合わせた研究書の準備を進め、そのための研究の一部を『阪大法学』に発表した。ロシア革命百周年を記念する雑誌に「ロシア革命とクロボトキン」と題するエッセイを執筆したが、年度内の刊行にはいたらなかった。

平成30年秋、信山社より刊行予定の二宮正人教授古希記念論文集に寄稿するため、日米の貧困対策の比較可能性に関する論文を執筆した。

高橋明男教授を研究代表者とする研究プロジェクトに参加し、平成29年2月に本学で開催された国際シンポジウムに基づく学術書を分担執筆した。

**【教育】**

院講義「西洋政治思想史・同特殊講義」「総合演習(地域福祉の政治思想)」及び学部講義「外国語文献研究Ⅰ」「西洋政治思想史」を行った。院講義では、ヴィクトリア朝時代のイギリス政治思想について、文献を講読した。

**【管理運営】**

特になし。

**【社会貢献】**

平成25年度より始まったJICA 関西の国別研修(タンザニア地方政府改革研修)において、企画・準備に協力するとともに、基調講演を行った。大阪大学出版会において、編集委員会委員を務めた。